

鹿児島県漁海況週報

平成25年1月31日発行(1月24日～1月30日)
 第2491報【旧暦:12月13日～12月19日/月齢12.3～18.3/潮汐:中潮～中潮】



鹿児島県水産技術開発センター
 〒891-0315 指宿市岩本字高田上160番10号
 TEL:0993-27-9212, FAX:0993-27-9218
 HP: http://kagoshima.suigi.jp/

【海況】

○黒潮北縁域(薩南～トラ群島海域)

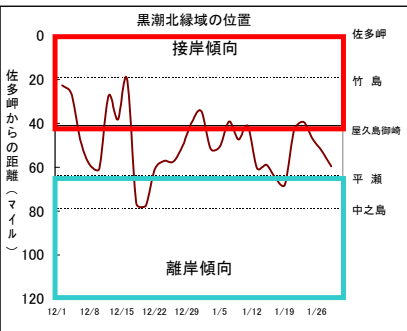
黒潮北縁域は、1月29日現在、平瀬の北4.5マイル付近にある。

○黒潮流軸(種子島東)

種子島東の黒潮流軸は、1月29日現在、71マイル付近にある。

○定期船等による表面水温

各海域の表面水温は、先週と比較して、黒潮流域、竹島で0.5～1.0℃昇温し、与路島で変わらず、その他の海域で0.2～1.5℃降温した。
 平年比較では、中之島で“かなり低め”、鹿児島、屋久島御崎、笠利崎、与路島で“やや低め”、その他の海域で“平年並”となった。



表面水温℃

定点名	実測値	先週比較	平年比較	評価
黒潮流域	21.8	+0.5	-0.3	平年並
鹿児島	15.7	-0.3	-0.7	やや低め
佐多岬	17.7	-0.2	-0.4	平年並
竹島	19.4	+1.0	-0.4	平年並
屋久島御崎	20.6	-1.5	-1.2	やや低め
中之島	20.6	-0.3	-1.0	かなり低め
笠利崎	20.4	-0.3	-0.9	やや低め
与路島	20.9	+0.0	-0.4	やや低め
与論	21.6	-0.8	+0.0	平年並
甌海峡	15.8	-1.0	-0.4	平年並

鹿児島～那覇定期客船観測は1/29～30
 串木野～甌定期客船観測は1/30

【漁況】

○定置網

甌島海域では、クロマグロ(10kg前後)が7～10尾/日、ウスハハキ(1～2kg)が70～150kg/日、メジナ(700g)が600～700kg/日の入網。西薩南部海域では、サワラ(1～3kg)が3～4トン/日、サンマ(100～150g)が150～200kg/日、アオリイカ(400～700g)が200kg/日、クロマグロ(10kg前後)が2～4尾/日の入網。鹿児島湾口部大隅半島側では、クロマグロ(9～11kg)が週計で40尾の入網。大隅半島東部海域では、週計で39統がスルメイカ、サハ類中、サワラ主体に12トンの入網。志布志湾南部海域では、週計でタコウオ、カクチイシ、サワラ主体に3.2トンの入網。

○キビナゴ刺網

甌島海域では、2～5箱/隻・日の漁。鹿児島湾口部大隅半島側では、2～3箱/隻・日の漁。種子島海域では、10～15箱/隻・日の漁。

○パッチ網

志布志湾海域では、シラスを製品で5トンの入札があった。

○ブリ銅付け

鹿児島湾口部薩摩半島側では、4～12kgサイズを15～40尾/統・日の漁。大隅半島南部海域では、4～5kgサイズを10～60尾/統・日の漁。

(まき網、棒受網、カツオ竿釣の漁況は下記の記事に転載しています。)

業種別・漁港別水揚げ状況

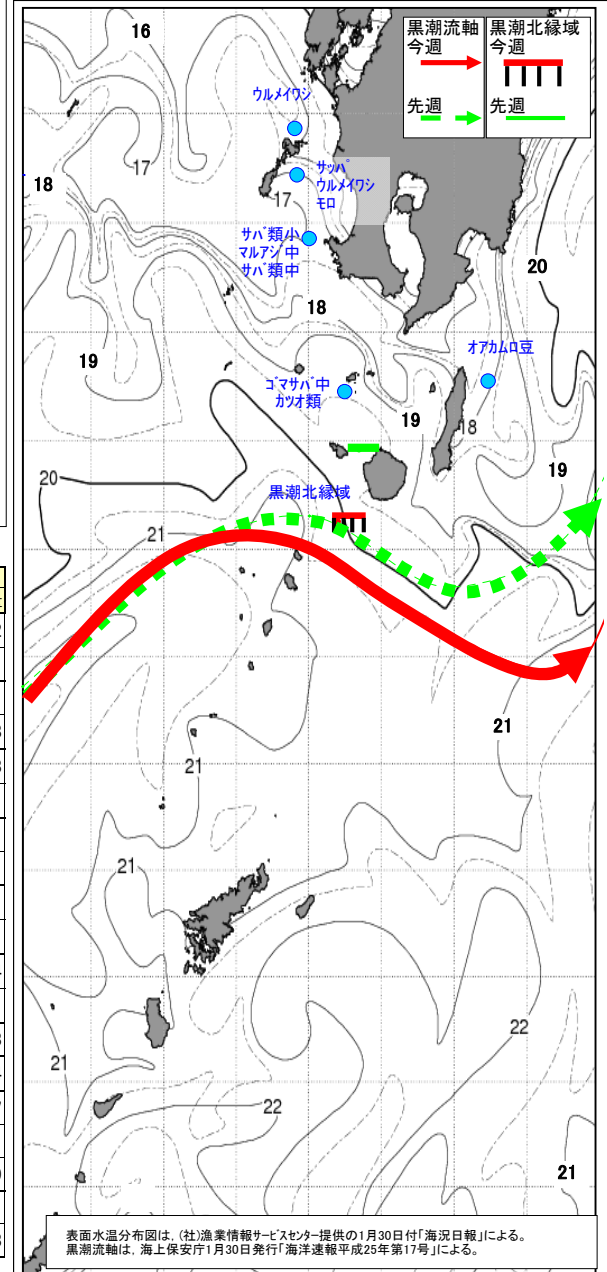
漁業種類	漁港	隻数	漁獲量(トン)	漁場	魚種組成(%)	1日		前週		前年同期	
						1統	隻数	漁獲量	隻数	漁獲量	
旋網	阿久根	大	32	野間池沖	サハ類小32 マルアジ中16 サハ類中12	16.1	2	21	2	22	
		中	8	東 繩瀬	サハ45 ウルメイワシ32 モロ14	2.6	13	112	0	—	
	枕崎	大	0	—	—	—	9	469	0	—	
		中	2	21	硫黄島沖 種子島東	ゴマサハ中46 オアカムロ豆42 カツオ類5	10.5	18	364	2	8
	内之浦	中	0	—	—	—	0	—	1	3	
	山川	中	0	—	—	—	0	—	0	—	
計	大	2	32	—	—	16.1	11	490	2	22	
	中	5	29	—	—	5.8	31	476	3	11	
東海旋網	阿久根	0	—	—	—	0	—	0	—		
	枕崎	0	—	—	—	—	5	786	0	—	
棒受網	阿久根	7	6	阿久根沖 長島	カクチイワシ100	0.8	30	22	1	0.4	
	内之浦	0	—	—	—	—	0	—	0	—	
定置網	内之浦	39	12	—	スルメイカ22 サハ類中14 サワラ13	0.3	47	11	47	13	
刺網	阿久根	大	0	—	—	—	0	—	1	197	
		小	0	—	—	—	0	—	0	—	
カツオ竿釣・海外旋網	海旋	0	—	—	—	—	0	—	2	1,259	
	山川	中	0	—	—	—	1	1	0	—	
		海旋	0	—	—	—	2	1,337	2	1,303	

○トビウオロブ曳網

種子島海域では、大トビを70～80箱/統・日の漁。屋久島海域では、大トビを42～54箱/統・日の漁。

○その他

甌島海域では、一本釣りでメダイ(6～7kg)を100kg/隻・日の漁。西薩海域では、刺網でヒラメ(1kg前後主体)を5～40尾/隻・日の漁。曳縄でカマスワラ(0.5～3.0kg)を8～9kg/隻・日の漁。西薩南部海域では、刺網でメダイ(1～2kg)を20尾/隻・日、ヒラメ(1.0kg前後)を10～20尾/隻・日の漁。一本釣りでメダイ(1～2kg)を5～6尾/隻・日の漁。鹿児島湾口部薩摩半島側では、一本釣りでイサキ(100～500g)を多い船で10kg/日の漁。志布志湾海域では、底曳網で多い船でメダイ(1～6kg)を5～10尾/日、カイワリ(200g前後)を20kg/日、ヒラメ(0.7～1.3kg)を10尾/日の漁。種子島海域では、一本釣りでメダイ(5～6kg)を40～50尾/隻・日の漁。屋久島海域では、一本釣りでゴマサハ(500～800g)を多い船で60～80尾/日、メダイ(4～5kg)を50～60尾/隻・日の漁。奄美南部海域では、旗流しの3日操業でソノイ(胴体のみ10kg前後)を70尾/隻の漁。延縄の2日操業でキンメダイ(1～2kg)を40kg/隻、ムツ(1～12kg)を120kg/隻の漁。一本釣りの2日操業でナンヨウキンメ(1.0～2.5kg)を60kg/隻の漁。



表面水温分布図は、(社)漁業情報サービスセンター提供の1月30日付「海況日報」による。
 黒潮流軸は、海上保安庁1月30日発行「海洋通報平成25年17号」による。